

2010年度の VERAプログラム小委員会報告

小委員会委員長
藤沢健太(山口大学)

VERA共同利用観測の公募

- 世界に公開した共同利用観測の公募
 - 観測期間:2010年の1年間
 - 周波数=22/43GHz
 - 2ビームの観測=提案可能
 - 観測局の利用形態は3通り可能
 - VERAのみ
 - VERA+NICT34m
 - VERA+NRO45m+NICT34m
 - 目標観測割当時間=400時間
 - 従来どおり
 - 公募締切:2009年10月15日(前年より1.5カ月早い)

プログラム小委員会の概要

- 小委員会の開催

- 日時: 2009年11月12日 13:00 - 15:20

- 場所: 国立天文台三鷹第一会議室

- 委員会構成員・出席者(敬称略)

- 台内

- 廣田(本間委員の代理、水沢VLBI観測所)、久野(野辺山)、郷田

- 台外

- 関戸(情報通信研究機構、鹿島)、今井(鹿児島大学)、藤沢(山口大学; 委員長)

- オブザーバー

- 柴田(水沢VLBI観測所)

応募・審査結果

- 総数9件(前年は20件)
- 国内提案のみ、国外提案はなかった(前年は半々)
- 総要求時間 430時間(平均48時間/提案)
- 野辺山利用希望 65時間

- 採択数 8件
- 観測時間 278時間
- 野辺山・鹿島の利用 65時間(可能な範囲で実施)

審査の補足

- 審査・論点

- 割当時間

- 要求通り 5件
- 要求より少ない時間を割当 3件
- 割当なし 1件

- 科学的意義

- 科学的意義は多くのプロポーザルで高く評価

- 議論

- VERAのプロジェクトで行うべきとされた観測(1件)
- 主に感度による観測の難しさを指摘されたもの(3件)

観測時間・割り当て

提案

- 観測件数 : 9件
- 総時間数 : 430時間

採択

- 観測件数 : 8件
- 総時間数 : 278時間
- 野辺山 : 65 時間

考察

- 内容は適切
 - ・ AGN: 5件
 - ・ 星: 3件
- 倍率・観測時間も適切
- 提案が少ない
 - ・ 国外からの提案がない
 - ・ プロポーザルの案内・締切日変更を十分に周知できていない?

2009年度共同利用関連情報

★ 2009年度共同利用に採択された観測一覧

採択観測件数 : 8件
採択総時間数 : 278時間

No.	Proposal Title	提案者	所属	カテゴリ	割当時間
47	Mapping SiO Maser Distribution in the Unusual Variable, IU Peg	Sakamoto, Tsuyoshi	Japan Space Guard Association	Stars	48 (8x6)
48	アンモニア吸収線VLBIによる Arp220の隠れたAGNの探査	澤田-佐藤 聡子	山口大学	AGNs	13 (13x1)
49	AGNに見られる短期微小フレアの起源の解明	門田晶子	山口大学	AGNs	68 (8.5x8)
50	γ線ブレイザーMrk 501のコアピークは動くか?	Motoki Kino	国立天文台	AGNs	16 (8x2)
52	年周視差測定によるAGB星OHメーザー3次元形状の解明	倉山智春	鹿児島大学	Stars	36 (6x6)
53	Probing the γ-ray Emission Site of 3C 84	H. Nagai	国立天文台	AGNs	50 (10x5)
54	Relative proper motions of H ₂ O maser spots in NGC 6334 I(N)	Imai Hiroshi	鹿児島大学	Star forming regions	15 (3x5)
55	Astrometry of the radio core of the low-luminosity AGN M 104 (Sombrero galaxy) II	K.Hada	Sokendai	AGNs	32 (8x4)

その他の議論

- レフェリーの公開について
 - レフェリーの氏名の公開請求があった場合、どのように対応するか。一定期間が経過した場合に限り、開示請求があれば開示する方針である。
- 共同利用観測の追跡調査
 - 共同利用で行った観測が、その後適切に研究に利用されているかどうか、という質問がVERAユーザーズミーティングで出された。これに応えるよう、VERAプロジェクトとして、調査を行う予定である。
- 絶対評価の点数について
 - 評価の点数は現状の5段階でよいか議論を行った。4段階程度にしても良いのではないかという意見があった。
- 技術審査について
 - 現在は、プロポーザルに対する技術審査は行っていないが、行うことが適切かどうか検討し、必ずしも必要ではないという結論になった。

その他の議論

- 観測回数ガイドライン

- 年周視差を求める観測の場合どの位の観測回数が必要かを VERA の方で示しておく必要があるのではないか？
- 多くが 4-5 回の提案をしているがこれで年周視差が求められるのか？

⇒ 特に明示はしない。

- PIの資格

- 学部生が PI の提案が 1 件あった。VERA では何も規定はないが、野辺山は院生以上としている。

⇒ 今後も特に規定はしない。

- 観測結果のフィードバック

- 共同利用観測の結果をレポートして欲しいとの要望があった(各望遠鏡へのフィードバックという意味で)。

⇒ ユーザーへ働きかける。